

# 事業名 NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク

## ■事業の目的（300 字程度）

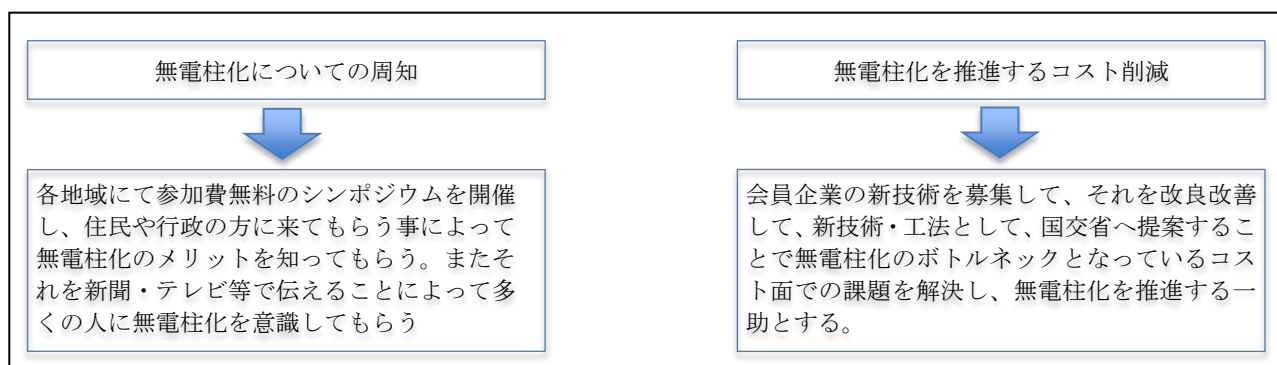
現在日本には約 3552 万本の電柱が建っていて、その電柱からは蜘蛛の巣状に電線や機器等が張り出している。欧米諸国やアジア諸国でもほとんどの国が無電柱化を達成しているのにも関わらず、日本においては長年において放置されている。さらにこと地震大国日本においてこれらの電柱は人命を脅かす凶器である。実際 1995 年の阪神淡路大震災では多くの電柱が倒壊し、緊急車両の到着を遅らせたり、電線が切れたことによる火災が発生したりしている実情が存在する。そこで当 NPO ではこの電線・電柱を地中に埋設するための支援を行い、無電柱化の普及を行う事を目的とする。

## ■事業の概要（300 字程度）

■**広報・啓発事業**：現在、大阪、東京、北海道、沖縄の 4 拠点で定期的に会員向けの会合を開催。行政や民間団体、商店街等への無電柱化支援事業（住民向け勉強会・合意形成支援）、専門家による技術セミナーやシンポジウム、街並見学会の開催、教育機関を通じた出張講義、テレビ・新聞を通じての情報提供を行っている。

■**研究開発**：各地方の無電柱化の現場視察会、国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所などとも連携して、コスト削減、新工法、工期短縮など、新世代の無電柱化技術の提案。また国交省の民間ワーキンググループに参加し企業からの低コスト手法の提案等を吸収し、国と一体となって研究開発を行っている。

## ■社会的課題の現状アプローチ



## ■具体の事業内容

1. **技術セミナー**：無電柱化の技術面や法制度が学べる勉強会を各分野の専門家を招いて行っている。特に会員には東京・大阪・沖縄・北海道・名古屋で定例会（勉強会）を行っている（写真①）。
2. **無電柱化に関する見学会**：全国各地の無電柱化された街の見学ツアー（街並見学会）や低コスト化技術の実証実験や低コストのノウハウを盛り込んだ無電柱化事業の見学会や勉強会を行っている。
3. **シンポジウム・セミナーの開催**：防災の専門家を招いた専門セミナーや無電柱化推進のためのシンポジウムを全国各地で開催している。またその他に無電柱化事業者を一同に会した推進展（無電柱化推進展）を毎年行っている。
4. **研究開発**：専門家や専門機関、会員企業との共同研究による無電柱化の低コスト化、簡易化、狭幅な道路での事業化などの技術の研究開発を行っている。
5. **広報活動**：上の 1～4 のような、様々な活動を当 NPO のホームページやメールマガジンを通じて、広く事業の知識や情報を届けている。また、会員向け広報誌「美空」を月 1 回発行している。
6. **出張出前授業**：教育機関を通じて、小学生向け出前授業（写真②）や大学生向け出張出前講義を行っている。
7. **行政機関との連携**：無電柱化を推進する市区町村長の会と連携し、無電柱化推進の要望書を国会に求めたり、各地で開催するシンポジウムへの参加を呼び掛けたりしている。
8. **マスコミへの対応**：マスコミ関係者の無電柱化の取材要請に対して、出来る限り取材に応じ、現状説明に努めている（写真③）。またインターンシップやボランティア活動としてインターン生に取材活動を行ってもらっている。
9. **無電柱化アドバイザー派遣**：行政や地域住民で構成する街づくり協議会で議題に上がる無電柱化整備事業の問題解決、進め方などのアドバイスを行っている。また無電柱化を分かりやすく啓発する『無電柱化勉強会』も併せて開催している。



写真①大阪で行われている定例会



写真②小学生向けの出前授業



写真③テレビ出演する井上事務局長

## ■実施による効果

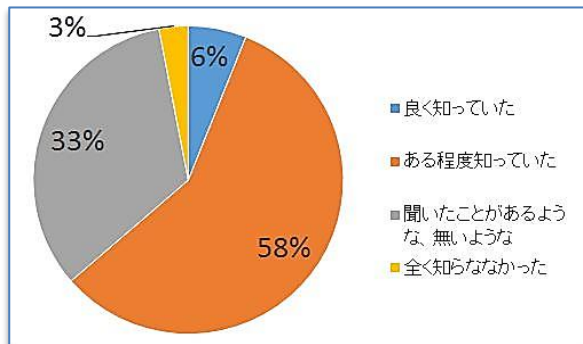


福知山市広小路町 以前

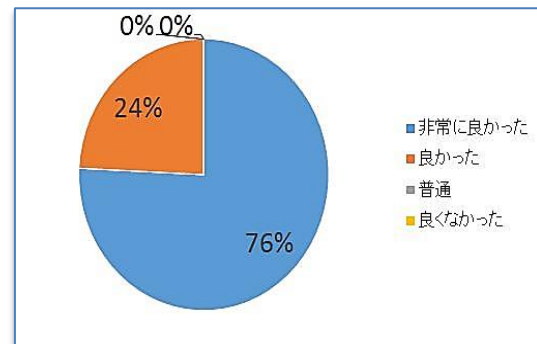


福知山市広小路町 以後

当 NPO が街づくりのアドバイザーとして電線地中化の合意形成や技術検討に関するアドバイスを行い、地元と行政の取り組みの橋渡し役となった。(画像は電線地中化を実現した時のイメージ写真)



講義前に「無電柱化」について知っていましたか？



講義全体の印象をお答え下さい。

2018年に沖縄支部で顧問をしている琉球大学の神谷准教授の要請で当 NPO の井上事務局長が無電柱化の出張講義を行った時に学生に答えてもらったアンケートの結果だが、無電柱化について 94%の学生が十分な知識を持っていなかった中で講義全体の印象は 100%の学生が「良かった」と回答している。

## ■事業の特徴・革新性

◎2007年に設立し、当初からセミナーや広報活動、異業種交流会、情報収集活動など、10年以上地道に無電柱化の啓発活動に取り組んできた。

◎無電柱化の第一人者を執筆陣に揃え、無電柱化に関する初めての専門書『電柱のないまちづくり』を発行した。無電柱化を推進する市区町村長の会と連携し、国会に無電柱化の推進の請願などを行っている。

◎2016年の「無電柱化の推進に関する法律」成立後、2017年に東京(1月)、大阪(2月)、沖縄(8月)、北海道(10月)と参加費無料の無電柱化推進法成立記念シンポジウムを開き、数多くの聴衆を集める。毎年7月には、東京ビッグサイトにて無電柱化推進展を開催し、多くの参加者を集める。このようなシンポジウム・推進展は、今年も引き続き行われる予定で、シンポジウムでは4月に名古屋で、7月には東京で無電柱化推進展をすることが決定している。

◎高コストが無電柱化の推進を阻んでいる現状に対して、国土交通省のもとで低コスト技術を検討する部会、民間ワーキンググループに当 NPO 事務局長である井上が参画している。無電柱化に携わる企業・研究機関と連携しながら、低コスト技術の開発についての勉強会、実証実験しているところの見学会、低コスト化を考えるセミナーを行っている。

◎2017年から奈良県斑鳩町の法隆寺周辺道路についての無電柱化調査検討業務を受託して進めている。本件は、当初電線管理者に町が相談するも無下にことわられたとのことで、当 NPO 高田理事長に町から相談があった。今回はコストを抑えて無電柱化したいという街の要望で、低コスト手法を実験的に取り入れられないかという検討を行っており、2018年度末に成果品を納品する予定。



沖縄で行われた無電柱化推進シンポジウムの様子

## ■今後の展望

これから国もまずは東京オリンピックに向けて無電柱化を加速させることが決まっているので、そこまでに低コスト化の技術の開発が進めば、その先も無電柱化された街が一般的になり、また社会インフラの常識になっていくと思われる。低コスト化に向けて会員企業の技術・製品の PR や企業同士のコラボレーションによる低コスト商品開発を後押しして日本の無電柱化を推進していきたい。